

絵本の読み聞かせを通して「違い」について考
える生徒
＝日置市の上市来中学校



絵本通し「違い」考える

上市来中で 読み聞かせ

日置市東市来の上市来中学校で11日、校長による絵本の読み聞かせがあった。「生徒が考えを深める機会に」と企画。全生徒23人が「違い」をテーマにした作品に耳を傾けた。

取り上げたのは「ぼくはくるま、みんなもくるま」。クラクションがない車を主人公

に、マイノリティーやマジョリティーについて考えさせた。3年の大迫朱音さんは「自分の周囲だけでなく、広い視野で世界や物を見る大切さを感じた」と感想を述べた。

今後も月1回程度実施する予定。川端成實校長は「平易な物語に込められたメッセージを読み解いてほしい」と話している。

(吉田文)